

任意団体設立からわずか2年の最短期間で社団法人設立にまでこぎつけられたのは、関係者のご理解とご協力があつたためと、心から感謝しています。

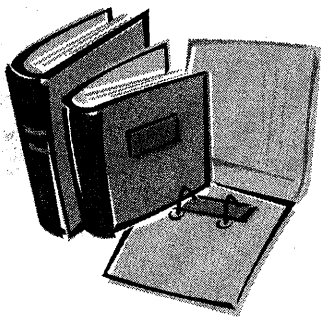
第1の功労者は会員のみなさまです。組織がまだ十分整っていない中で、お願いした仕事をトラブルもなく、次々と処理していただきました。順調な業績の進展は関係団体から高く評価されています。みなさまの誠実な仕事振りは、発注者からの繰り返しの仕事依頼ではつきり証明されています。第2の功労者は精華町の協力です。町長以下全職員が物心両面にわたってシルバー人材センターを盛り立てていただきました。近隣シルバーのみなさんにも随分お世話になりました。定款をはじめ諸規程の内容や業務推進の方法など、多方面にわたってご指導をいただきました。京都府シルバー人材センター連合会、京都府、京都労働局的的確な指導も見落とすことはできません。社団法人設立にこぎつけたからといって、ひとつの通過点であり、ゴールではないたためです。これで近隣シルバーと同じ立場に立てたという状況に過ぎません。

シルバー人材センターにはいま「追い風」

と「向かい風」が吹いています。「追い風」は、時代の風がシルバーの存在意義を高めているということですが、やがて人口が減り、若い働き手が不足する時代がくると、働く高齢者の価値はますます高まってくるでしょう。

「向かい風」とは、仕事の受注面で他の団体との競争が激しくなり、行政からの資金援助は先細りの状況にあるということです。これまでは「生まれればかりの団体」という理由で、仕事依頼や財政援助面でも手厚い援助を得ていましたが、これからはそうはいきません。法人格を持った団体になると『自主・自立』の運営方針が求められます。

シルバー人材センターは『協働・共助』の考え方を基本にしています。増える会員数に見合った仕事量の確保と限られた仕事をみなで分かち合う。法人化後の運営は、この理念を大事にしていきたいと考えています。会員のみなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



理事会等のうごき

第8回理事会（2月16日）

全議案を承認

- 平成16年度収支予算の科目変更にかかるとる専決処分の承認を求めることについて

● 会員の入退会者の承認

● 平成16年度第2回補正予算（案）

● 臨時総会の開催について

- 精華町シルバー人材センターの解散について

- 精華町シルバー人材センター残余財産の処分について

臨時総会（3月2日）

全議案を承認

● 平成16年度第1・2回補正予算（案）

- 精華町シルバー人材センターの解散について

- 精華町シルバー人材センター残余財産の処分について

第9回理事会（3月2日）

全議案を承認

- 会員の入退会者の承認